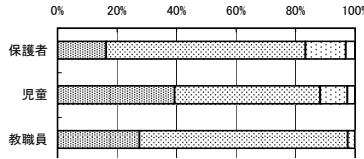


■ 4-そう思う □ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない

学校教育目標

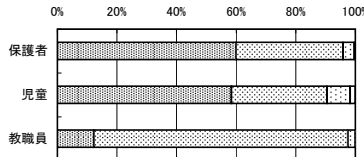
1 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。



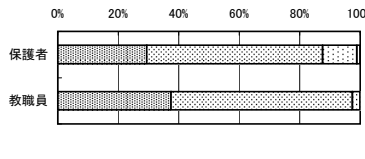
2 意欲的な学校生活

子どもは、楽しい学校生活が送れていると思いますか。



3 教師の連携協力

学校では、先生方が連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。

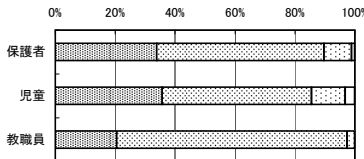


【学校から】
○学校の具体的な教育目標や教育方針を年度始めに「学校だより」などで知らせている。また、学年や学級担任から学校の方針について懇談会や集会でも伝えていく。学期ごとに到達目標の検証を行い保護者に知らせている。保護者の理解度も昨年は67%であったが、今年度は83%まで上昇している。意欲的な学校生活では、保護者・教職員は96%以上、児童も91%は楽しい学校生活が送れている。また、教師の連携協力では、保護者・教職員は、88%・98%と概ね良好である。今後とも教職員と保護者が協力し合って連携を深めていきたい。

教科指導

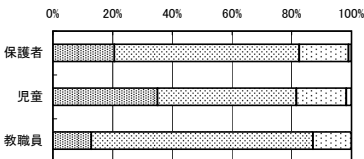
4 授業づくりの工夫

先生は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



5 意欲的な学習態度

子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。

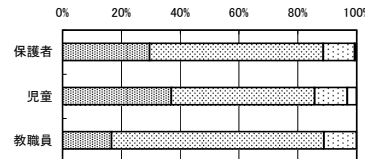


【学校から】
授業づくりの工夫においては、保護者が90%、教職員が97%だが、児童は86%とやや低かった。分かる授業、楽しい授業へ向けて更に取り組んでいきたい。意欲的な学習態度では、保護者、児童ともに82%、教職員は87%と子どもたちは取り組んでいるとみている。今年も英語活動を拠点校として取り組み楽しい授業づくりを教職員として励むとともに、教材研究の充実を図る必要がある。

総合的な学習の時間

6 総合的な学習の時間の充実

子どもは、総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいると思いますか。

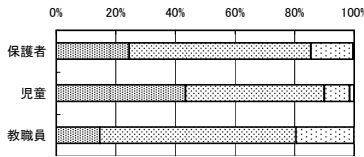


【学校から】
総合的な学習の時間は、概ね定着しており昨年より5~10%向上している。毎年、3学期に次の学年や、保護者に学習の成果を発表する場を設けており、意欲的に取り組むような学習計画を行っている。更に、学習の質を高めるために成果と課題を検討する場を設け次年度につなげていく必要がある。

道徳教育 心の教育

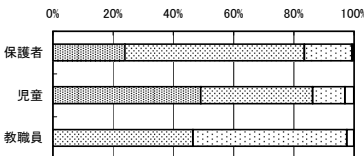
7 道徳、心の教育の充実

学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切にしている心の教育の充実に取り組んでいると思いますか。



8 あいさつ、礼儀の励行

子どもたちは、あいさつがきちんとできていると思いますか。

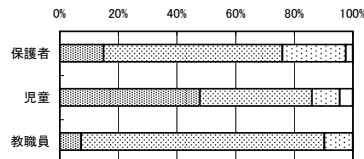


【学校から】
道徳、心の充実については、児童の90%近くが思いやりや感謝の心の教育ができていくという認識である。一方、保護者は、全体的には85%の高い数値で認めているが、教職員は、充実しているが17%で概ねできているとあわせて80%とやや低い。次年度は道徳、心の教育の充実と体験的活動等を取り入れるなどの工夫をしていきたい。挨拶、礼儀の励行では、児童と保護者は概ねできているという評価であるが、教職員は今一歩という思いであり、時と場合に応じた話し方や挨拶ができるように先ずは、朝の挨拶運動を全校的に取り組んでいる。この取り組みを通して挨拶に関心している地域の方からも「よくなった」という評価を得ている。今後、このような取り組みを更に強化していきたい。

人権教育

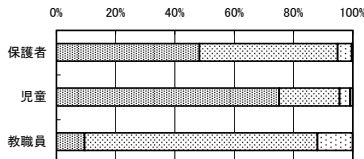
9 一人一人の生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にしている指導や対応ができていると思いますか。



10 友だちへの思いやり

子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。

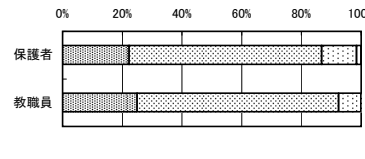


【学校から】
一人一人の児童の尊重については、児童の86%は努力していると認めている。一方、保護者は、76%であり、児童とはやや認識が厳しい。また、教職員は90%は概ね良好としている。来年度は今以上に児童一人一人を大切にしている指導や対応を心がける必要がある。ともだちのおもやりについては、概ね良好としている割合が児童も保護者も95%を超えているが、教職員は、良好は10%で概ね良好をあわせると88%ある。家庭と連携して今後とも生活指導面で気を配る必要があると考える。

特別支援教育

11 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、取り組んでいると思いますか。

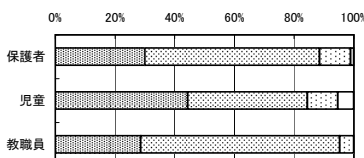


【学校から】
今年度から特別支援の項目が追加されたが、保護者87%、教職員93%とだいたい同じような傾向であるが、若干、教職員の評価に比べて、保護者の方が取り組みがたりないと考えている割合が高い。支援を必要とする子どもの教育について、研修や特別支援部会を更に活用して、保護者の啓発も合わせて行ってきたい。

生徒指導 教育相談

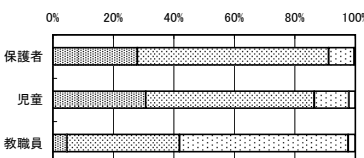
12 生徒理解

先生は、子どもを理解しようと努めていると思いますか。



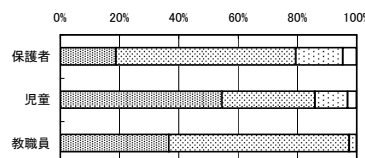
13 規範意識

子どもは、きまりやマナーを守っていると思いますか。



14 いじめや問題への対応

学校は、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。



【学校から】
生徒理解においては、そう思うという割合が一番多いのは児童の44%、保護者30%、教職員29%であるが、概ねそう思うまでになると教職員が一番高く、児童が少なかった。理解してくれないという児童の思いを大切にしよう心がけていきたい。規範意識については、昨年同様、教職員の評価が悪く、概ねできているという割合が、42%である。生徒指導面でまだまだと教職員は考えているが、保護者や児童は決まりやマナーを守っているという意識である。決まりやマナーは、家庭家庭で認識の差があるが、学校としては、最低限の決まりやマナーを守るような指導や呼びかけを行ってきたい。いじめ問題に対しては、教職員は、殆どがすぐに対応していると答えているが、保護者では、概ねできているという割合が79%、児童が88%である。話しやすい環境を全職員でつくって行き、組織を生かして連携して対応していきたい。

健康教育 安全

15 安全と事故防止

学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。

16 体力向上

子どもは、すすんで外遊びやスポーツをしていると思いますか。

【学校から】安全と事故防止については、保護者・教職員ともに概ね良好としている。力合メールなどの利用も多くなり保護者の関心も増えている。体力向上については、保護者・教職員は83%であるが、児童は80%とやや低い。日常的な活動への取り組みが今一歩だったため、3学期は、朝のジョギングを全校的な取り組みとして推し進めている。

学校行事

17 学校行事への参加と工夫

学校では、運動会や学習発表会など、よりよい学校行事に取り組んでいると思いますか。

【学校から】運動会は、本年度6月に行い、はじめに春に行ったが好評であった。また、秋の文化面での発表としての音楽会を力合祭と授業参観を兼ねて、力合小教育の日として行った。このことについては、学校の反省も尚学会の反省も概ね同じで良好であった。

学校環境

18 環境の整理・美化

学校では、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。

19 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

【学校から】校舎内外の環境美化については、児童・保護者・教職員ともに概ね良好であると認識している。学校の施設・設備は、安全でよく管理されているかでは、保護者、教職員は、86%と88%であったが、児童は、80%であった。今年は、大きな子どものけがが3件発生しているが、更に安全管理を徹底して安心・安全に暮らせる教育環境を整えていきたい。

情報の公開・発信

20 学校の予定等がわかる情報発信

学校からの連絡は、文書等できちんと行われていると思いますか。

21 教育活動への参加

学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。

【学校から】学校からの情報発信は保護者、教職員ともに95パーセントが概ね良好と判断している。一方、教育への参加では、保護者が84%、教職員が95%が概ね良好としている。昨年度と比較してみると保護者80%、教職員77%であり、本年度が向上に転じている。今後も更に保護者や地域の方が参加しやすい環境を整えていきたい。

家庭・地域との連携

22 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

【学校から】家庭や地域の連携について、保護者は77%、教職員は90%概ね良好としている。保護者との差があり、学級担任と保護者の連携を深めていくことが、連携協力につながると思う。そのためには、学級だよりや家庭訪問など密に行うように学校としての手立てを講じていきたい。

(学校独自)

23 家庭学習の充実

学校は、家庭学習の充実のために取り組んでいると思いますか。

【学校から】学校の目標に家庭学習の推進を掲げている。15分×学年を目標に全校あげて取り組んでいる。学期毎に目標の達成状況を調べて公表している。アンケートの結果、保護者は54%、児童は66%、教師は85%であった。家庭学習について保護者の学校に対する思いも受け止めて家庭学習の充実のために努力していきたい。

(学校独自)

#REF!

【学校から】

(学校独自)

#REF!

【学校から】

来年度の具体的な取り組みについて

本年度の学校運営に関して、保護者・児童の大半は概ね良好としている。これは、校長を中心とした教職員が一体となった取り組みが教育活動実践の確かな一歩として評価されたと考えられる。一方、教職員は道徳教育・心の教育・規範意識において厳しい評価を持っている。今後は、教職員一人一人が更に自己の研修を深め、充実することで教育実践を推し進めていくことが、児童や保護者、そして、地域の方々の信頼を高めていくことにつながるという。来年度は、本年度の4つの目標を確かなものとして定着させるために努力していきたい。

学校関係者評価

○教科学習について 一人ひとりの理解や学習意欲には、差があるため、十分な時間を必要とする子どもへの取り組みが大切と思われる。宿題などで漢字・計算のプリントが出され、先生方も大変だろうと感じる。その中で、家庭学習15分×学年は良い取り組みである。高学年での達成率が低いのが気になる。これからも努力をお願いする。○人権・支援等について 保護者が学校に求めるものは今後も大きく（広く）なっていくと思われる。いっそうの情報交換が大切とされる。家庭だけでなく、学校便りなどで広く発信することで学校への理解も深まると思う。○安全について 通学路に朝夕は車の通行も多く、児童も周囲への注意が不足気味で事故が心配される。帰宅後も急な飛び出し8自転車無茶な運転、用水路での水遊び（虫取り）低学年ほど用心する意識が足りない気がする。朝のジョギング、体力向上をめざした取り組みの中で、仲間づくりと連帯感ができると共に、学業へもいい成果が現れていること参加者が多くなることを願っている。○部活動について 入部している方に対してですが、あまり部活動の中で、（練習・試合）が多すぎではないか。部活動のないようを変えた方がよいのではないかと。○学校で取り組んでおられる重点目標4項目は大事であります、学力アップはすぐに解決しないかもしれない。次なるステップを期待しております。